

# SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年9月25日
事業者名:	昭和造園土木株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガスの排出量の把握、削減目標を定め、排出の抑制に取り組んでいる。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑪住み続けられるまちづくりを、⑫つくる責任 つかう責任	・ 剪定枝葉のチップ化（再資源化）（本社は事業者へ持込み、百年公園は堆肥化、薪） ・ タフグリーン（再生樹脂製芝生保護材）の開発、施工販売	指標	「剪定枝葉の再資源化率」、「タフグリーンの販売面積」
				目標	・ 剪定枝葉の再資源化率 : 100%再資源化をめざす ・ タフグリーンの販売面積 : 6,000㎡の販売をめざす
社会	・ 従業員の定期健康診断の実施等健康維持のための具体的な取組みを実施し、健康経営を推進している。 ・ 従業員の所定外労働時間を管理し、月10時間以下、月45時間以上従業員ゼロを実践している。	③すべての人に健康と福祉を、⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	・ 毎年1回定期健康診断実施	指標	「所定外労働時間数」
				目標	月10時間以下、月45時間以上の従業員ゼロ
経済	・ デジタル技術（ダンドリワーク、経営格差等）を活用して、業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。 ・ 社内書類ペーパーレス化の推進	⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑫つくる責任 つかう責任	・ ダンドリワーク、経営格差の導入	指標	「社内書類ペーパーレス化」
				目標	可能なもの100%

ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載>  植栽によるCO2削減の見える化で付加価値をつけ他社との差別化を図るという重点項目を掲げ、企業活動（営業、施工、エクステリア関連）で100%実施を目標とし、当該目標達成状況を共有するため、社内でのCO2削減資料の再共有化と資料作成の徹底を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。  ・ SDGsの取組み記載ページのURL : <a href="https://www.showa-con.co.jp/zoen/">https://www.showa-con.co.jp/zoen/</a>